

大阪市立

森之宮小学校

郵便番号	536-0025
所在地	城東区森之宮1丁目6-64
電話番号	(06) 6967-7811
FAX	(06) 6967-4661
校長名	上山 敏弘



【学校の概要】

昭和54年「大阪市立森之宮小学校」として開校する。校区内には、医療関係の施設やJR西日本・大阪メトロの建物があり、大阪市の都市機能を支える重要な役割を担う地域に学校がある。

【教育目標等】

- 校 訓
「こことからだをきたえ たくましく」
- めざす子ども像
「深く考える子・豊かに感じる子・力を合わせる子・明るくはきはきした子・からだをきたえる子」
- 学校教育目標
「子どもが心豊かに力強く生き抜き 未来を切り拓く力の育成 ～豊かなことと豊かな表現～」

運営に関する計画（中期目標）

【視点 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 全市 ○安全で安心できる学校、教育環境の実現
○道徳心・社会性の育成
○地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

- 学校 ・規範意識の確立、いじめ・問題行動に対する制度の確立
・防災、安全教室の推進
・道徳の時間を要とする道徳教育の推進
・人権を尊重する教育の推進
・図書館活性化、家庭学習の支援
・豊かなことと豊かな表現を育む体験活動

【視点 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 全市 ○全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上
○子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取組
○国際社会において生き抜く力の育成
○健康や体力を保持増進する力の育成

- 学校 ・言語活動の充実、論理的思考力の育成
・社会の変化に対応する力
・課題を発見し解決する力
・体力・運動習慣・運動意欲の向上
・健康に関する現代的な課題への対応
・環境美化や健康な生活習慣の確立

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の概要

大阪市教育委員会では、令和元年度「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」については、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表いたしません。

調査人数が全体で14名（男子9名、女子5名）という少人数であるため、個々の担うポイントが大きい。そのため、平均値のみで児童の体力・運動能力、運動習慣等の傾向を判断したり、経年比較したりすることは実に困難である。あえて平均値を比較すると、男子、女子ともにほとんどの種目において、大阪市の平均を上回っている

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

本校では日常の体育学習はもとより、冬の耐寒かけ足、耐寒なわとび等の取り組みを行い、児童の体力・運動能力の向上に取り組んでいる。この結果は、体育科学習のあり方を工夫し、子どもたちの興味関心を高め、広い芝生の運動場でのびのびと運動に親しませている成果だと考える。

また、水泳や耐寒かけ足等は低学年から距離・タイムなどの記録を残している。自己の記録の伸びを計るものとし、がんばりと友だちと協力する喜びを大切にしている。調査対象の第5学年に運動を苦手とする児童はいなかったが、学校全体としては、地域のスポーツクラブに所属する児童とそうでない児童に体力・運動能力の差がある。今後もそれを解消すべく、「運動が得意でなくても、決して運動嫌いにさせない」取り組みを継続する

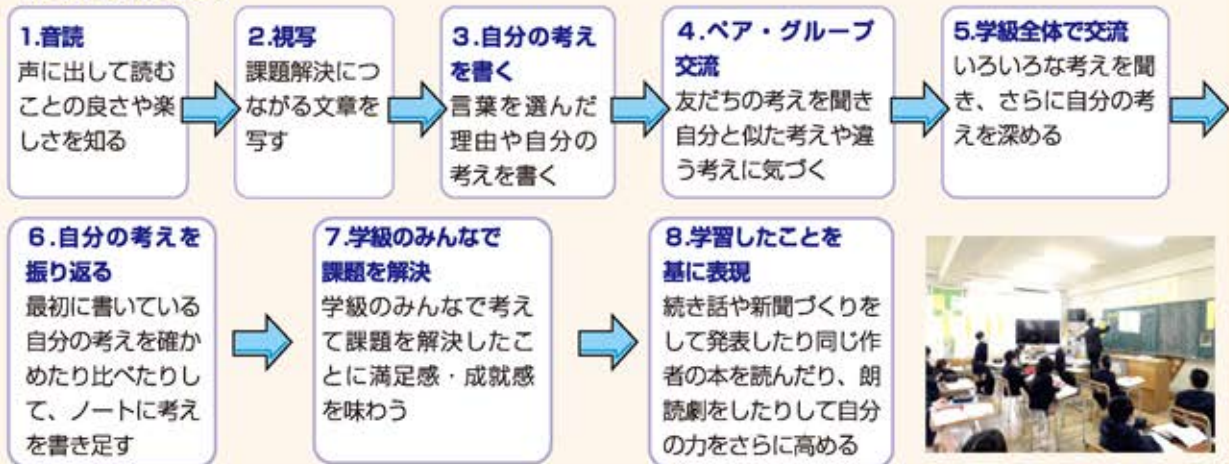
令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

元年度も、教科平均正答率が、国語、算数で全国・大阪市平均を上回った。さらに、無回答率は国語、算数ともに、大阪市平均より低い。質問紙調査においても、「先生は、あなたのよところを認めてくれている」「いじめはどんな理由があってもいけないこと」という質問の肯定的回答率は100%であった。それ以外の質問も大阪市平均に比べ、良好な結果であった

【取組の成果と今後取り組むべき課題】

校内では、国語科を中心に授業研究をしている。「思考力・判断力・表現力」の育成と活用をめざし「読むこと」「話すこと・聞くこと」に加え、「書くこと」を言語活動の核として、授業実践を重ねてきた。算数科においても3～6年生で、習熟度別少人数指導を実施するなど、学習の基礎基本が定着するよう授業実践を積み重ねている。また、読書、漢字の書き取り、計算等、朝の学習時間を「スキルアップ」として取り組んでいる。これらのことが、この成果につながっていると考える。これからも、基礎・基本の学力の定着、課題に対し真剣に最後まで取り組む学習意欲、ルールマナーを守ろうとする規範意識の定着を確実に進めていきたい。

(国語科の授業例)



学校のアピールポイント等

○ 縦割り班活動

小規模校の特性を生かし、本校の特色でもある縦割り活動をさまざまな形でこなしている。低学年は高学年を敬い、高学年は低学年を思いやる心を育成している。特に、「あこがれ」となる高学年の育成を図っており、何事にもまじめに熱心に取り組む高学年の姿勢が全校の児童に影響を与え、学校全体の落ち着いたアットホームな雰囲気を作っている。



○ 芝生の運動場

本校には、目にも鮮やかな大阪一大きな芝生の運動場がある。子どもたちは、体育の時間はもちろんのこと、休み時間にもふかふかした芝生の上を走り回っている。大きなけがも少なく、安心して遊ぶことができる。放課後には野鳥の姿を見ることもでき、心にゆとりを与えている。

- 互いに認め、高め合う集団
- リーダーシップと
フォロアシップの育成
- 「あたりまえ」のことを
あたりまえに行う力



学校案内図 (14ページも併せてご覧ください)

